

「分析支援プログラム」を活用した効果的な取組事例（中学校）

【白岡市教育委員会】

1 本校の実態

学習状況調査から、県より低い項目と白岡市より高い項目とに分けてみた。結果としてみれば、概ね良好と思われる。

※白岡市全項目が県より高い。県と白岡市の間の項目は除く

	県の正答率より低い項目		県・市の正答率より高い項目	
	内容	評価の観点	内容	評価の観点
国語	漢字の読み		A話すこと聞くこと B書くこと C読むこと 言語文化と…	関心・意欲・態度 書く能力 読む能力 知識・理解・技能
社会	地理的分野	知識・理解		
数学	D資料の活用		A数と式 B図形	数学的な技能 知識・理解
理科		思考・表現		関心・意欲・態度 知識・理解
英語				

2 分析プログラムによる実態把握 相関関係のある項目

【社会】地理的分野

社会【観点】《資料活用の技能》	強く関連	理科	6項目中6項目
社会【観点】《知識理解》	強く関連	英語	7項目中5項目
社会【観点】《思考・判断・表現》	強く関連	数学	8項目中3項目

【社会】知識理解

社会【観点】《資料活用の技能》	非常に強く関連	理科	6項目中6項目
社会【内容】《歴史的分野》	強く関連	英語	7項目中3項目
社会【内容】《地理的分野》	強く関連	数学	8項目中3項目
社会【観点】《思考・判断・表現》	やや強く関連	国語	9項目中2項目
社会【観点】《関意態》	やや強く関連		

【数学】資料の活用

数学【観点】《数学的な見方や考え方》	やや弱く関連	他教科との相関が見られず
数学【観点】《技能》	やや弱く関連	

【理科】思考表現

理科【内容】《第1分野》	やや強く関連	数学	8項目中4項目
数学【内容】《図形》	やや弱く関連	社会	6項目中6項目
理科【観点】《知識理解》	やや弱く関連		
理科【内容】《第2分野》	やや弱く関連		
理科【観点】《観察・実験の技能》	やや弱く関連		

3 学力向上への各教科個別の対策として

【社会】 地理的分野及び知識理解については、資料活用の技能を高めるとともに、歴史的分野も含めて、総合的に生徒の学力向上に努める。

やや弱い相関として、社会と理科・英語が相互に関連しているので、理科と共に学力向上に努める。

【数学】 D資料の活用については、数学的な見方や考え方や技能にやや弱い関連が見られるのみなので、資料の活用に絞って学力向上に努めていく必要がある。

【理科】 科学的な思考・表現については、理科自体の教科だけではなく、社会との関連で学力向上に努める。

4 他教科との相関（やや弱い関連）と対策

	内容	関連数	評価の観点	関連数
国語	話すこと・聞くこと	0	関心・意欲・態度	4
	書くこと	1	話す・聞く能力	0
	読むこと	6	書く能力	1
	言語文化と国語	1 1	読む能力	6
			知識・理解・技能	1 1
社会	地理的分野	1 4	関心・意欲・態度	1 1
	歴史的分野	8	思考・判断・表現	1 2
			資料活用の技能	2 0
			知識・理解	1 4
数学	数と式	1 1	関心・意欲・態度	1 1
	図形	2 0	見方や考え方	1 1
	関数	5	数学的な技能	1 7
	資料の活用	0	知識・理解	1 8
理科	第1分野	1 3	関心・意欲・態度	9
	第2分野	1 7	思考・表現	1 0
			観察・実験の技能	7
			知識・理解	1 8
英語	聞くこと	1	関心・意欲・態度	0
	読むこと	1 4	外国語表現の能力	2
	書くこと	7	外国語理解の能力	1 5
			知識・理解	9

表の数字は、弱いながらも他教科のとの相関がある項目数を分析支援プログラムで調べた結果である。

関連の数値が少ない項目は、その点に絞って重点的に支援していく項目である。

ただし、国語に関しては、他教科との関連が少ないとみるよりも、すべての教科の基盤となるものとして捉えていく必要がある。

数値の大きい項目は、他教科と相互に関連しているので、他教科と共に対策を立てていく必要がある。